

株主優待乗車証発行基準

ご所有株式数		優待乗車証の方式	発行枚数 (6か月につき)	継続ご所有追加発行枚数
1,000株以上	5,000株未満	回数券式(電車) 1枚1乗車(片道)有効	4枚	10,000株以上の各ご所有株式数を 3年以上継続してご所有の場合
5,000株以上	10,000株未満	〃	10枚	
10,000株以上	20,000株未満	〃	30枚	回数券式(電車) プラス 6枚
20,000株以上	35,000株未満	〃	60枚	〃 プラス 6枚
35,000株以上	50,000株未満	定期券式(電車)	1枚	〃 プラス 14枚
50,000株以上		定期券式(電車・バス)	1枚	〃 プラス 14枚

(有効期間は、いずれも12月1日～5月31日、6月1日～11月30日の6か月間)

- (注) 1. 上記の優待乗車証は、当社線*でご利用いただけます。また、ご所有株式50,000株以上の株主様に発行する電車・バス優待乗車証は、当社線*及び京成バス(株)の路線バス(高速バス、コミュニティバス、深夜急行バス、貸切バス等を除く。)でご利用いただけます。
 ※北総線各駅(新柴又駅～印旛日本医大駅間)では、株主優待乗車証はご利用になれませんので、北総線区間の運賃を別途お支払いください。
 2. スカイライナー等にご乗車の際は、別途ライナー券をお求めください。また、深夜バスにご乗車の際は割増分の運賃をお支払いください。
 3. 継続ご所有追加発行は、過去3年間(平成24年5月送付分の場合、平成21年3月31日以降)すべての株主優待権利確定日(9月30日・3月31日)において、10,000株以上を継続して所有し、かつ株主番号または氏名・住所が継続して同一である株主様に対し、その期間の権利確定日に所有していた最少株式数に応じて発行いたします。(相続により名義人の方が変更となった場合は対象となりません。)
 4. 株主優待乗車証は再発行いたしません(定期券式の株主優待乗車証をPASMOに移し替えた後、紛失または障害により再発行する場合を除く。)
 5. 他の交通機関への振替輸送のお取扱いはいたしません。



グループ会社優待券

1,000株以上ご所有の株主様に発行

京成ホテル(水戸)・京成ホテルミラマール	宿泊料金の20%割引・レストラン飲食料金の10%割引	優待券枚数 (向施設共通)	8枚
筑波山京成ホテル	宿泊料金の15%割引	優待券枚数	2枚
筑波山ロープウェイ・ケーブルカー	乗車料金20%割引	優待券枚数	3枚
鋸山ロープウェイ	乗車料金20%割引	優待券枚数	3枚
京成トラベル	「メイト」(国内)5%・「ホリデイ」(海外)5%割引 ※その他のツク旅行国内3%・海外3%割引	優待券枚数	4枚
京成バスシステム	旅行代金の500円割引	優待券枚数	4枚
千葉交通旅行社	「ドリームツアー」旅行代金の5%割引	優待券枚数	4枚
和風ファミリーレストラン「京成友膳」	飲食料金の20%割引	優待券枚数	5枚
京成ローザ®	映画館大人入場料金の800円割引	優待券枚数	5枚
リブレ京成	お買物代金2,000円ごとに100円割引	優待券枚数	20枚
京成フラワー	1件2,000円以上のお買物の場合10%割引	優待券枚数	5枚
京成バラ園「ローズガーデン」	入場料金(当日券)の50%割引	優待券枚数	6枚
京成バラ園「ガーデンセンター」	お買物代金5,250円以上で10%割引	優待券枚数	4枚
京成不動産	不動産売買仲介手数料の10%割引	優待券枚数	1枚
京成不動産	リフォーム工事代金の5%割引	優待券枚数	1枚
京成ドライビングスクール	入学金割引	優待券枚数	2枚
成田自動車教習所	入学金割引(普通車)	優待券枚数	2枚
西柏自動車教習所	入学金割引(普通車・中型車・二輪車)	優待券枚数	2枚
帝都ビークルショップ	車検整備コース料金5,000円割引 自動車飯金・塗装代金の10%割引	優待券枚数	2枚
JALイービーシー	成田空港宅配通常料金より1個につき300円割引	優待券枚数	4枚
JALイービーシー	携帯電話レンタル料通常料金の20%割引・ 通話料通常料金の10%割引 ※成田・中部・関西・羽田(国際線ターミナル内)の各空港	優待券枚数	4枚
スーパー銭湯「笑がおの湯」	入浴料50%割引	優待券枚数	10枚

(有効期限は、優待券に記載のとおりです。)



本誌は再生紙、植物油インキを使用しています。

京成 BUSINESS REPORT

株主 投資家の皆様へ

第169期報告 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで



京成電鉄株式会社

京成ビジネスレポート 第169期報告 CONTENTS

株主の皆様へ	1
事業の概況	2
連結財務諸表	5
特集	8
営業エリア案内	10
TOPICS	11
株式に関するご案内	12
会社の概要／株主情報	13

～京成グループ理念～

グループ経営理念

京成グループは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献します。

グループ行動指針

- 安全** 私たちは、安全・安心を第一に行動します。
- 接客** 私たちは、あいさつを励行し、お客様の立場にたって行動します。
- 成長** 私たちは、絶えず自己革新し、新たな価値を創造します。
- 企業倫理** 私たちは、すべての人を大切にし、法令・規則を遵守します。
- 環境** 私たちは、自然環境に配慮し、行動します。

グループスローガン

いろんな笑顔を結びたい 京成グループ

株主の皆様へ



拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第169期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)の事業概況をご報告するにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災及び原子力災害の影響を受けた生産活動に持ち直しの動きがみられたものの、電力供給の制約や円高の長期化により企業収益が減少し、失業率が高水準にあるなど、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、全事業にわたり積極的な営業活動を展開するとともに、より一層の経費削減に取り組むなど、業績の向上に努めてまいりました。

その結果、全事業営業収益は2,302億8千2百万円(前期比3.2%減)となり、全事業営業利益は199億2千2百万円(前期比2.4%減)となりました。経常利益は、持分法投資利益の増加等により222億4千万円(前期比6.4%増)となり、当期純利益は134億7千1百万円(前期比12.0%増)となりました。

当社グループを取り巻く事業環境は、長引く景気低迷や少子高齢化、東日本大震災の影響等依然として厳しい状況が続くものと予想されます。当社グループでは、さらなる「進化」を期して、平成22年度から平成33年度における在るべき姿を示す長期経営計画「Evolution Plan(=Eプラン)」及びその第1ステップとなる中期経営計画「E1プラン」をスタートさせており、事業の中核である運輸業の競争力・収益力をさらに強化するとともに、沿線に密着した堅実な総合生活産業を展開し、地域経済を代表する企業グループの地位を拡充してまいります。

当社グループは、グループ経営理念に基づき、「安全・安心」と、お客様に喜ばれる商品・サービスを提供し、沿線を中心とする地域の発展に寄与してまいります。また、コンプライアンス・リスク管理体制を充実させ、内部統制システムの強化に努めるとともに、常に自然環境との調和に配慮するなど企業の社会的責任の遂行に取り組んでまいります。さらに、お客様第一主義を徹底し、「BMK(ベストマナー向上)推進運動」を浸透させ、選ばれる京成グループを構築してまいります。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成24年6月

代表取締役社長

三枝紀生

運輸業

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、地震計の増設や高架橋耐震補強工事を推進したほか、デジタルATSについて、設置区間の拡大工事を行いました。また、東日本大震災により被災した一部区間における法面復旧工事を行いました。電力不足対策としては、本数を削減したダイヤによる運行を9月9日まで実施したほか、駅構内・列車内照明の一部消灯やエスカレーターの一部使用停止等を行いました。大規模工事については、押上線連続立体化工事において、墨田区内での工事を推進いたしました。

営業面では、「下町日和きっぷ」等の企画乗車券を販売したほか、成田空港における国内線の新規路線就航を記念したキャンペーンを行うなど、各種営業施策を実施いたしました。また、新型スカイライナーが鉄道友の会選定のブルーリボン賞を受賞いたしました。



墨田区内の押上線連続立体化工事

バス事業では、一般乗合バス路線において、墨田区内コミュニティバス、流山市内及び葛飾区内等で新規路線の運行を開始いたしました。高速バス路線においては、千葉～長野線の運行を開始したほか、浜松町バスターミナル内にチケットカウンターを開設いたしました。また、新橋～成田線等深夜急行バスの運行を開始いたしました。このほか、東日本大震災の復興を支援するため、緊急支援バスの運行に加え、ボランティアバスツアーを企画・催行いたしました。

しかしながら、東日本大震災及び原子力災害による出控え等の影響により、営業収益は1,269億8千5百万円(前期比1.7%減)となり、営業利益は141億4千2百万円(前期比6.0%減)となりました。



浜松町バスターミナル内の京成バスチケットカウンター

流通業

百貨店業では、東日本大震災の影響により、フロア限定・時間短縮営業を余儀なくされたものの、各種イベントによる販売促進策を実施し、集客を図りました。

ストア業では、リブレ京成LaLaテラス南千住店及び高根台店をリニューアルオープンし集客を図りました。また、コンビニエンスストアを、北総鉄道印西牧の原駅にオープンいたしました。

以上の結果、営業収益は734億1千5百万円(前期比0.7%減)となりましたが、経費削減により営業利益は12億7千万円(前期比45.9%増)となりました。



リニューアルオープンした「リブレ京成高根台店」

不動産業

不動産販売業では、「サングランデ亀有親水公園」及び「サングランデ印西牧の原ドアシティ」等の中高層住宅や成田市公津の杜等の住宅用地を販売いたしました。

不動産賃貸業では、「アビタシオン京成千葉中央」(有料老人ホーム)及び台東区浅草においてビジネスホテルの賃貸を開始いたしました。

以上の結果、営業収益は160億6千4百万円(前期比18.8%減)となりましたが、営業利益は38億7千1百万円(前期比16.1%増)となりました。



「サングランデ亀有親水公園」を販売

レジャー・サービス業

映画業では、「京成ローザ[®]」全館にて、映写機のデジタル化を実施いたしました。

ホテル業では、近隣地域へのセールスを強化し、新規顧客の獲得に努めたほか、京成ホテルミラマーレにおいてロビーラウンジの改装を実施いたしました。

しかしながら、営業収益は107億1千9百万円(前期比7.9%減)となり、1億7千3百万円の営業損失となりました。



デジタル化した映写機を導入した「京成ローザ[®]」

建設業

建設業では、分譲マンション及びビジネスホテルの新築工事のほか、公共施設工事等を行いました。

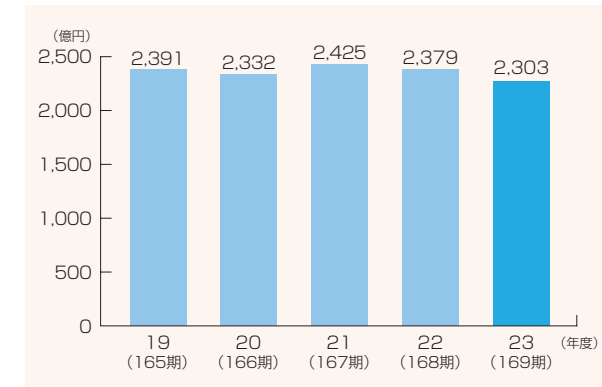
しかしながら、営業収益は193億2千7百万円(前期比9.2%減)となり、営業利益は6億6千4百万円(前期比32.5%減)となりました。



新築した分譲マンション(サングランデ印西牧の原ドアシティ)

京成グループ決算ハイライト

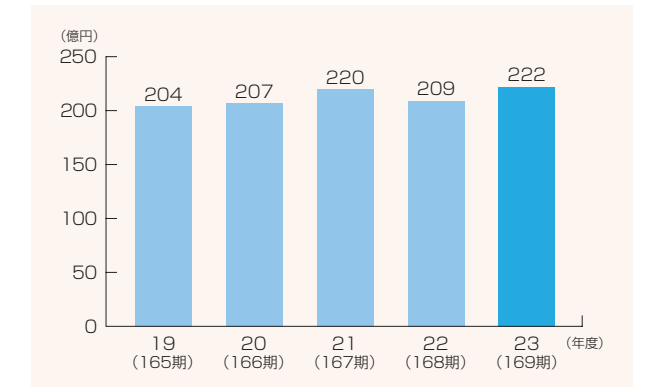
■営業収益



決算のポイント

東日本大震災及び原子力災害による出控え等の影響により、営業収益はその他の事業を除く各セグメントにおいて減収となりました。

■経常利益



決算のポイント

経費削減の効果に加え、持分法投資利益が増加したことにより、増益となりました。

連結対象会社

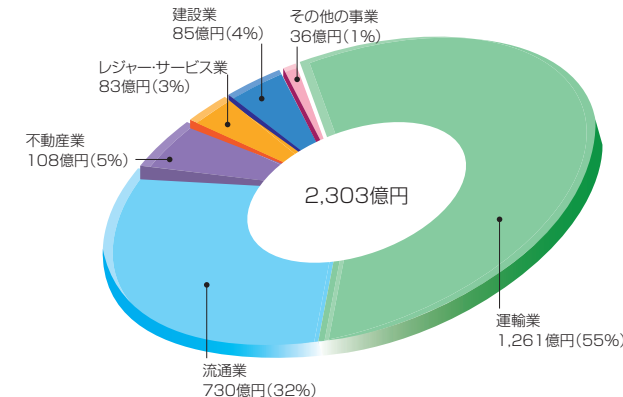
連結子会社

- **運輸業**：北総鉄道(株)、千葉ニュータウン鉄道(株)、京成バス(株)、千葉交通(株)、千葉中央バス(株)、千葉海浜交通(株)、千葉内陸バス(株)、成田空港交通(株)、ちばフラワーバス(株)、ちばレインボーバス(株)、東京ベイシティ交通(株)、ちばグリーンバス(株)、京成タウンバス(株)、ちばシティバス(株)、京成トランジットバス(株)、京成バスシステム(株)、帝都自動車交通(株)、帝都自動車交通(株)(墨田G)、帝都自動車交通(株)(大森G)、市川交通自動車(株)、成田タクシー(株)、(株)千葉交タクシー、船橋交通(株)、合同タクシー(株)、西千葉タクシー(株)、かずさ交通(株)、三田下総交通(株)
- **流通業**：(株)京成ストア、(株)コミュニティ京成、(株)水戸京成百貨店、京成バラ園芸(株)、(株)ユアエルム京成
- **不動産業**：京成不動産(株)、京葉商事(株)、京成ビルサービス(株)
- **レジャー・サービス業**：(株)イウォレ京成、筑波観光鉄道(株)、京成ホテル(株)、(株)千葉京成ホテル、(株)京成エージェンシー、京成トラベルサービス(株)、京成ハーモニー(株)
- **建設業**：京成建設(株)、京成電設工業(株)
- **その他の事業**：京成車両工業(株)、京成自動車工業(株)、(株)京成保険コンサルティング、(株)京成ドライビングスクール

持分法適用関連会社

- (株)オリエンタルランド、新京成電鉄(株)、関東鉄道(株)、小湊鉄道(株)、東京空港交通(株)、成田空港高速鉄道(株)

■セグメント別営業収益構成比 (169期営業収益構成比)



(注)セグメント別営業収益構成比は、外部顧客に対する営業収益の比率を表示しております。

連結貸借対照表の要旨

科目	単位：百万円		科目	単位：百万円	
	当期末 (平成24年3月31日現在)	前期末 (平成23年3月31日現在)		当期末 (平成24年3月31日現在)	前期末 (平成23年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	84,803	73,803	流動負債	169,509	165,673
現金及び預金	26,561	22,714	短期借入金	68,411	89,384
分譲土地建物	19,241	19,061	1年内償還予定の社債	16,050	100
その他	39,000	32,028	その他	85,047	76,189
固定資産	640,090	643,089	固定負債	364,414	372,526
有形固定資産	496,229	501,353	社債	75,000	91,050
建物及び構築物	266,303	269,664	長期借入金	155,113	141,529
土地	139,821	139,640	鉄道・運輸機構長期未払金	68,751	71,351
その他	90,104	92,048	その他	65,549	68,594
無形固定資産	11,800	13,238	負債合計	533,924	538,199
投資その他の資産	132,060	128,498	(純資産の部)		
投資有価証券	112,085	105,956	株主資本	187,762	176,240
その他	19,975	22,541	資本金	36,803	36,803
繰延資産	177	229	資本剰余金	28,485	28,485
			利益剰余金	124,502	112,920
			自己株式	△ 2,029	△ 1,969
			その他の包括利益累計額	536	△ 42
			その他有価証券評価差額金	684	126
			繰延ヘッジ損益	△ 148	△ 169
			少数株主持分	2,848	2,726
			純資産合計	191,148	178,923
資産合計	725,072	717,123	負債純資産合計	725,072	717,123

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書の要旨

科目	単位：百万円	
	当期 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)	前期 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)
営業収益	230,282	237,887
営業費	210,359	217,475
営業利益	19,922	20,411
営業外収益	9,595	8,883
営業外費用	7,277	8,383
経常利益	22,240	20,911
特別利益	2,958	26,342
特別損失	3,731	28,771
税金等調整前当期純利益	21,466	18,482
法人税、住民税及び事業税	4,980	6,011
法人税等調整額	2,786	△ 108
法人税等計	7,767	5,902
少数株主利益	228	552
当期純利益	13,471	12,027

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

科目	単位：百万円	
	当期 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)	前期 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,184	36,803
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,367	△ 24,411
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,903	△ 15,940
現金及び現金同等物の増減額	3,912	△ 3,549
現金及び現金同等物の期首残高	22,191	25,741
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	2	-
現金及び現金同等物の期末残高	26,106	22,191

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	株主資本					その他の包括利益累計額			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	36,803	28,485	112,920	△ 1,969	176,240	126	△ 169	△ 42	2,726	178,923
当期変動額										
剰余金の配当			△ 1,889		△ 1,889					△ 1,889
当期純利益			13,471		13,471					13,471
自己株式の取得				△ 59	△ 59					△ 59
自己株式の処分			△ 0	0	0					0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						558	21	579	122	702
当期変動額合計	-	△ 0	11,581	△ 59	11,522	558	21	579	122	12,224
当期末残高	36,803	28,485	124,502	△ 2,029	187,762	684	△ 148	536	2,848	191,148

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

今注目の“東京下町”で、京成グループが活躍！

京成グループの事業エリアである東京都東部で、本年5月東京スカイツリー®が開業。京成グループでは東京都墨田区内を循環するコミュニティバスを運行するなど、積極的な営業活動を展開しています。

「下町日和きっぷ」好評発売中

京成線都内エリアが1日乗り降り自由となるお得な乗車券を京成線各駅窓口で発売しています。エリア内のお店や施設等を割引料金で利用できる特典もありますので、東京下町観光に最適です。*詳しくは当社公式HPをご覧ください。



墨田区内循環バス「すみだ百景 すみまるくん・すみりんちゃん」運行開始

京成バスでは、東京都墨田区より委託を受け墨田区内循環バスを運行しています。2タイプの車両があり、「すみまるくん」は天井の一部と右側面上部に展望窓があるのが特徴。「すみりんちゃん」は全国でも先駆的な電気バス車両です。今、最も旬な観光地として注目を集める墨田区をさらに盛り上げていきます。

東京スカイツリータウン®をつなぐ新たな路線が運行開始

京成バスでは、東京スカイツリータウン®と東京ディズニーリゾート®を約55分で結ぶ「スカイツリーシャトル®」を運行しています。

また、京成タウンバスと共同で、新小岩駅から東京スカイツリータウン®を経由して浅草を結ぶ路線バス「新小岩駅～東京スカイツリータウン®前～浅草線」も運行しています。



スカイツリーシャトル®の運行車両は高速バス車両を使用



「リッチモンドホテル浅草」開業

当社が建設し、賃貸する浅草二丁目ホテル(ホテル名「リッチモンドホテル浅草」)がオープンしました。同ホテルの外観・エントランス及び共用部分のデザインは、山本寛斎氏が担当。客室からは浅草寺と東京スカイツリー®が一望できます。

グループ事業エリアで介護・保育施設を拡充！

当社では、少子高齢化や核家族化などの社会情勢を見据え、グループ会社資産を有効活用し、介護・保育施設の整備を進めています。こうした取り組みを通じ、今後も沿線の価値向上に努めていきます。

「セントケア大神宮下」(本年3月～)と「鎌ヶ谷ピコレール保育園」(本年4月～)が営業開始



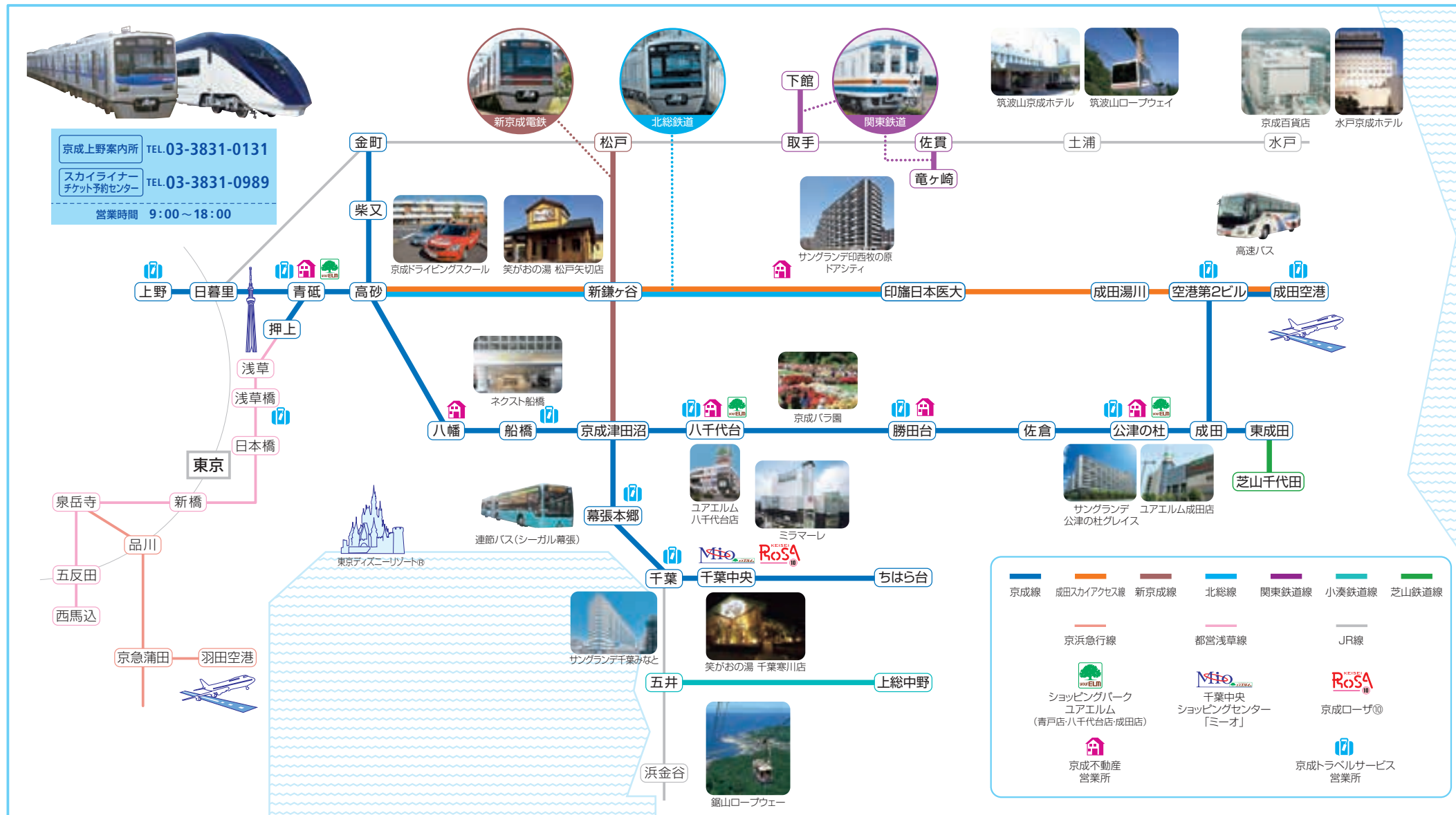
- セントケア大神宮下
- 営業内容
認知症対応型
デイサービス施設
 - 営業日
月～土曜日
 - 営業時間
9:30～18:30
 - 定員
12名



- 鎌ヶ谷ピコレール保育園
- 営業日
月～土曜日
 - 営業時間
7:00～19:00
 - 定員
60名

京成線沿線の介護・保育施設





TOPICS

「平成24年度 鉄道事業設備投資計画」報告

投資額 102億円

今年度計画では、鉄道設備の安全対策をはじめ大規模地震への対策強化を図るほか、通勤型車両の新造など、お客様により安全・快適にご利用いただけるよう取り組んでいきます。

(1) 安全対策の強化

①押上線連続立体交差事業の推進、②ATS(自動列車停止装置)の機能向上、③災害対策の推進、④踏切の安全対策の強化、⑤駅ホームの安全対策の強化を行います。

(2) 通勤型車両の新造

省エネルギー車両の3000形を2編成(1編成当たり8両)導入します。この車両は、車内ドア上に液晶ディスプレイ(LCD)を設置し、4か国語対応(日・英・中・韓)で駅名等の案内を表示します。



新造する3000形車両

(3) 鉄道施設の計画的な更新

江戸川橋梁や、一部駅舎の外壁及び屋根を改修するほか、変電所設備機器等、老朽化した鉄道施設の更新工事を実施します。

(4) サービスの向上

①エレベーター・スロープ・多機能トイレの設置、②京成八幡駅のリニューアル、③東京スカイツリー®開業に伴う対応、④車両の先行表示装置の更新、⑤駅構内店舗の新設・更新を行います。

(5) 環境対策等

車両のクーラー更新に伴い、冷媒にオゾン層を破壊しない種類のフロンを使用した環境にやさしいクーラーを導入します。

特別口座からの振替について

平成21年1月5日から株券の電子化が実施されたことにより、当社を含む上場企業の株券が廃止されております。電子化以降もお手元に株券をお持ちの株主様の株式は、当社が三菱UFJ信託銀行に開設いたしました「特別口座」にて管理されております。

「特別口座」に記録された株式に関しましては、配当金や株主優待を受ける権利など株主様の基本的な権利に支障はございませんが、売却に時間を要するなどの不都合が生じる場合がございますので、**ご本人名義の証券口座への振替**をご検討くださいますようお願い申し上げます。

特別口座に関するお手続きの内容につきましては、以下までお問い合わせください。

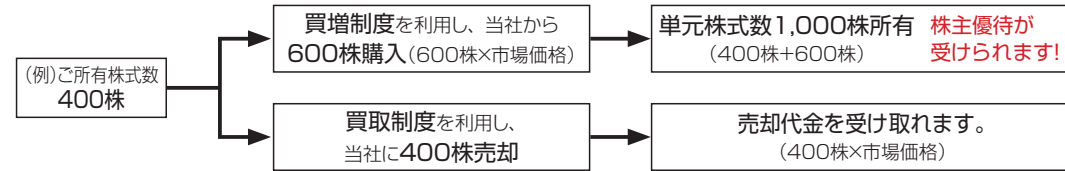
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社
☎0120-232-711 (通話料無料)

単元未満株式の買増制度・買取制度について

当社の単元株式数である1,000株に満たない株式(単元未満株式)につきましては、株主総会における議決権がなく、株式市場で売買できないなどの制約がございます。

当社では、単元未満株式をお持ちの株主様が、1,000株に足りない数の株式を市場価格にて買増していただける制度(買増制度)及び単元未満株式を当社へ売却する制度(買取制度)を設けておりますので、ぜひご利用をご検討ください。



買増制度・買取制度に関するお手続きの内容につきましては、以下までお問い合わせください。

証券会社にてご所有の株主様 ▶ 各証券会社

特別口座に記録された株主様 ▶ 三菱UFJ信託銀行株式会社
☎0120-232-711 (通話料無料)

会社の概要(平成24年3月31日現在)

創 立	明治42年6月30日
本 社	東京都墨田区押上一丁目10番3号 〒131-8555 03-3621-2242(総務人事部総務課)
資 本 金	36,803,841,088円
発行済株式の総数	344,822,371株
主な事業内容	鉄道による一般運輸業/土地・建物の売買及び賃貸業
営 業 キ 口	鉄道152.3km
車 両 数	鉄道客車602両
駅 数	69駅
従 業 員 数	1,723名

取締役及び監査役(平成24年3月31日現在)

代表取締役会長	花田 力	取締役	齋藤 貢
代表取締役社長	三枝 紀生	取締役	小林 敏也
専務取締役	金子賢太郎	取締役	佐藤 賢治
専務取締役	米川 公誠	取締役	眞下 幸人
常務取締役	神子田健博	取締役	松上英一郎
常務取締役	大室 健	常勤監査役	松田 博
常務取締役	宮田 弘幸	常勤監査役	村岡 隆司
常務取締役	酒寄 博司	監査役	松野 信也
取締役	松村 修	監査役	上西京一郎
取締役	飯島 俊一	監査役	宇治原 潔

株主メモ

事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日
期 末 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	3月31日
中 間 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
株 主 名 簿 管 理 人 特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎0120-232-711(通話料無料)
上 場 取 引 所	東京証券取引所(第1部)
公 告 の 方 法	電子公告により行う

※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。従来同封いたしておりました当社専用の「配当金振込指定書」は、同封を取りやめております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。